

文学界後記

岸田國士

青空文庫

○
 文学界の精神といふやうなものがだん／＼はつきりして来たこ
 とはうれしい。

○
 当代の文学者が、それ／＼の立場の上で、互に共通の目標を
 自覚しはじめたことの証拠である。

○
 文学が文化運動の流れに沿ひ、しかも、これを誘導すべき役割
 をもつといふ意味が、俄かに拡大された理由をもつとはつきりさ
 せねばならぬ。

○
 そのために、創造の幾部分が啓蒙に捧げられても悔いない覚悟を、同人の大多数が期せずしてもつに至つたことは、悲壯と云つてもよろしい。

○
 が、実は、悲壯でもなんでもない。それが、今日、自分たちを生かすただ一つの道だとしたら！

○
 十八世紀的臭味など恐るゝに足らぬ。

現代の日本では、二十世紀なる言葉は凡そ空虚な響きをしかもたぬことを知るものは知つてゐるのだ。

アカデミスムの樹立が進歩的であつたりする矛盾を嗤ふにも嗤へないのである。

池谷賞の詮衡を終つた。各文学賞が特定のジャンル、又は、限界によつて、いつそう受賞者の風貌を鮮明に浮きあがらせることが、将来に残された問題だと思ふ。

今は、少くとも、そんなことをしてゐる暇はないといふ時代か。

○

膝づめ談判で、作文競争のやうなこともさせられた編輯当番の寝言以上の如し。

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集23」岩波書店

1990（平成2）年12月7日発行

底本の親本：「文学界 第四卷第二号」

1937（昭和12）年2月1日発行

初出：「文学界 第四卷第二号」

1937（昭和12）年2月1日発行

入力：tatsuki

校正：門田裕志

2009年11月12日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

文学界後記

岸田國士

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>